



広報むらた

2017.1 no. 521

謹賀新年



～福を招く打ち出の小槌と軍配～

【関場七福神舞伝承会所有】

今月の主な内容

●特集

年頭のあいさつ	2
新年の抱負	4

●まちの話題・まちのスポーツ

各種表彰ほか	6
まちのスポーツ	11





年頭のあいさつ

村田町長 佐藤英雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さんには、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃町政に対し温かいご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、四月に熊本地震、十月に鳥取地震が発生したほか、八月は例年になく東北地方への台風の襲来が相次ぎ、「台風十号」が観測史上初めて東北地方に直接上陸し、東北や北海道に多大な被害をもたらすなど近年になく自然災害が多い一年になりました。本町への被害はありませんでしたが、あらためて防災・減災に対する自助、共助、公助の重要性を強く感じたところであります。また、国外においては英国のEU離脱、アメリカの次期大統領選など、世界経済や国際情勢へ及ぼす影響に関心が高まっています。このよう中、八月にはスポーツの祭典リオ・オリンピックが

開催され、日本人選手は過去最多のメダルを獲得しましたが、その中でも本町出身の三宅義行氏の御嬢さんの三宅宏実選手が女子ウエイトリフティング四十八キロ級で三位に入り、二大会連続でメダルを獲得しました。自らの「諦めなければ夢はかなう」の言葉通り、痛みに耐え、最後の最後にバーベルを上げた姿には日本中が感動したのではないでしょうか。

本町においては、待望の地域福祉センターが完成し、高齢者や障がい者、そして、すべての町民が尊厳と生きがいを持ちながら暮らし続ける町を目指しております。また、昨年六月には長年の悲願であった県道岩沼蔵王線のトンネル工事が着工となつたほか、国により東北道菅生パークリングへのスマートインターチェンジ設置が準備個所に指定され、現在、技術的な計画が進められております。

働き、そして活力ある経済のもう一つ、子どもを安心して産み、育てられる町を目指します。そして、村田町の地域特性を生かして、地方創生総合戦略に取り組み、本町の地方創生を加速してまいります。

特に、人口減少対策として「年少人口の増」を第一に、学力や体力の向上など本町ならではの子育て環境の充実、さらに宅地教育体系の充実と子ども医療費の所得制限の廃止と助成対象年齢を十八歳に引き上げるなどの組んでまいります。

また、町民の皆さんと町に活動気と元気を作り出すために本町産業の活性化に取り組みます。県内初の重要な伝統的建造物群保存地区に選定された蔵の町並みを中心とする歴史を生かしたまちづくりとともに、県道岩沼蔵王線のトンネル化や東北自動車道菅生パークリングのスマートインターチェンジ設置を機に新たな人の流れをつくるまちづくりを進めます。

迎えた本年は、協働の町づくりへの確実な前進と誰もがこのまちに愛着と誇りを持ち、学び、

創業支援による蔵のまちなみの賑わいづくりを推進し、加えて未来に希望が持てる新たな本町農業の基盤づくりを進めます。

さらに、仙台国際空港の就航路線の拡大により人やモノの動きが活発になることを見据えた宮城県南版DMOも進め、既存

「伝統と創造の町・むらた」には連綿と続く素晴らしい歴史的文化的資源があります。この伝統を大切に「こどもたちの声ひびき、元気な笑顔が集うまち」を目指し、オール村田で取り組んでまいりますので、更なるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さんにとりまして健康で幸多い一年でありますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



年頭のあいさつ

村田町議会議長 大沼克巳

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい、新春を町民の皆様とともに迎えることができ大変うれしく思います。村田町議会日頃は、議会活動並びに町政運営に対し、格別のご指導、ご鞭撻を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、大きな自然災害がありました。四月十四日と十六日に熊本地震が発生し、震源となつた熊本県、大部分県を中心には停電・断水被害のほか、家屋や壁の倒壊などにより死傷者も発生し、広範囲にわたりました。大きな被害をもたらしました。また八月三十日には、台風十号が統計開始以来、初めて大きな被害をもたらしました。一方海外では、十一月八日に太平洋側から東北地方に直接上陸し、岩手県や北海道で河川氾濫や堤防決壊の影響により死者が出たほか、東北六県で約八万三千戸、北海道で約七万五千戸が停電するなどの被害となりま

した。本町においては、大きな被害はありませんでしたが、更なる防災対策の対応に取り組む必要があります。

また、明るい話題としましては、八月にアラジルのリオデジャネイロオリンピックが開催され、本町出身の三宅義行氏の長女、三宅宏実選手が、重量挙げ八kg級においてロンドン大会の銀メダルに続いて、見事銅メダルを獲得されました。

国政においては、七月十日には、第二十四回参議院議員通常選挙の投開票が行われ、公職選挙法の一部改正により十八歳選挙権が施行され、若者をイメージしたポスターやキャンペーンが多かつたのが特徴でした。

八月三日には、第三次安倍改造内閣が発足し、今回新たに「働き方改革」担当相が新設されました。

一方海外では、十一月八日に米国大統領選挙の投開票が行われ、共和党のトランプ氏が民主党のクリントン氏を破り、世界

中に衝撃を与えました。また、隣国の韓国では、大統領の弾劾議案が可決され、職務停止になるなど世界情勢の先行き不透明感が表れました。

本町に目を向けますと、二月二日に亘理町で開催されました県南サミットにおいて、村井嘉浩宮城県知事から菅生地区にスマートインターチェンジを設置するという方針が示され、さら

に、六月四日には、県道岩沼蔵王線の（仮称）姥ヶ懐トンネルも着工しました。これによつて宮城県南部地域はもとより、山形・福島両県を含めた広域的な物流、インバウンド、新たな地域発展が期待されるところであります。また、待望の地域福祉センターの落成式が三月三十一日に行われました。

私ども議会は、二元代表制の一翼を担う議会として、これから的地方議会が果たすべき役割と責任をより明確にするとともに、将来に向けた議会のあり方をより強固とするため、様々な

角度から議会改革に向けた調査、研究を実施し、議会自ら不斷の改革を推進することを目的に「議会改革調査特別委員会」を設置して議会本来の使命達成のため鋭意取り組んでおります。さらに、意思決定機関として、その持てる権能を存分に駆使して積極的に努力してまいります。

今後とも、町議会に対しまして変わらぬご支援とご協力を賜りりますようお願い申し上げます。

最後に町民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

めでとうございます

今年は、酉年です。
年男・年女の方々を代表して、
7名の方に今年の抱負をお聞きしました。

今年の抱負は、毎年変わらず、身体を壊さず
仕事に励むことです。今年で私自身、今の会社に勤めて五年という節目の業務を行いますので、気持ちを一新して日々の仕事と趣味の時間も大切に思っています。昨年よりもより充実した一年になりました。



眞壁 択弥さん
(小泉姥ヶ懐区)
(平成5年生まれ)

僕が今年頑張りたいことは勉強です。特に算数は学年上がるごとに、難しくなってきて少しづつ正確にしていきたいと思いま

する。また、いろいろな事にチャレンジし、物事を自分から進んで出来る人になれるよう、頑張つていきたいです。中学生に向けて、六年生になつた僕がどんな事が出来るかを考え行動する立派な上級生になります。



田中 詩恩くん
(足立西区)
(平成17年生まれ)

私は、今年六年生になります。残り一年の小学校では、勉強も運動も全力で頑張りたいです。それから、低学年のお手本となるように、あいさつや身の回りの整理整頓などの生活面も、きちんとしたいです。その他には、幼稚園から習っているピアノで、最優秀賞を取れるようにたくさん練習したいです。最後に、お母さんの手伝いもして、料理も作れるようになりたいと思います。



水戸邊 菜々美ちゃん
(寄井区)
(平成17年生まれ)

2017 あけましてお

新年あけましておめでとうございます。五度目の年男、還暦の節目の年を迎える事ができました。一家業の建築業に従事し、皆様のおかげで早く定められた建物の修景事業に携わり、改めて日本の伝統建築のすばらしさを実感しました。今年后も地域に貢献できる仕事に係わるよう、もう少し家造りも頑張り、趣味のジヤズも楽しんでいます。



三浦 孝夫さん
(小泉中区)
(昭和32年生まれ)

昨年は、公私共に様々な素晴らしい出会いに恵まれ、仕事の幅が広がり、海外への出張もあり刺激的な一年でした。今年は、更なる飛躍を遂げられるよう頑張り、生まれ育った村田町に何かしらの貢献が出来ればと考えています。また、息子たちの成長を楽しみに、家族仲良いく健やかに、実の多い一年となるよう努力していくたいです。



星 勝也さん
(本町区)
(昭和56年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えまして今、感じている事は、目の前の今年に全力で取り組めば、今日も明日も乗り越えられると、見えない未来を不安がつても仕方ないかもしれません。小さな感動は、心が温かくなり癒されます。人との出会いと関わりで、感謝の言葉を忘れないうに過ごしたいです。そしてこれから的人生が大切な気がします。スタートだと思い、良い人生にしていきたいです。



相原 由美子さん
(小泉中区)
(昭和44年生まれ)

一つづつこのままにか、七回目の干支を迎える歳になつてしましました。ついでに人生楽しいことより苦しい、悲しい事が多いため思います。それらを乗り越え夢中で過ごしてきました。昨年の正月に大腿骨を骨折し、三ヶ月半入院生活を送りましたが、今はリハビリを兼ねボランティア活動を皆で楽しんでいます。「いい毎日を感謝と笑顔を忘れずに、今年も過ごしたい」と思つてあります。



阿部 貞子さん
(本町区)
(昭和8年生まれ)



平

成二十八年度新嘗祭に 献穀を行いました



十月二十七日に、平成二十八年度新嘗祭（月の初七日）が、皇居の賢所参集所で行なわれ、前年度の県農林産物品評会において農林水産大臣賞を受賞した渡邊長松さん（ほたる舞アーモ代表）が宮城県代表として、天皇陛下に精米一升を献穀されました。

新嘗祭は、例年十一月二十三日（勤労感謝の日）に皇居で行われる、新穀を供え感謝する行事です。

それに先立つて行われる「新嘗祭献穀式」は、新嘗祭に使用されるお米と栗を、各都道府県から選ばれた農家が天皇陛下に直接献納するもので、毎年十月下旬に実施されています。



十一月十八日、ホテルニューオータニ（東京都）において行われた平成二十八年度日本PTA年次表彰式の席上で、村田第一中学校PTAが本来の目的・性格に照らした優秀な実績を上げていることが認められ、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

第一中学校PTAの皆さんは、学校、地域、家庭が連携して子ども達が豊かに育つよう活動を行っています。



十一月二十五日に、名取市文化会館で行われた「こくほ健康フォーラム21」において、高橋優子さん（本郷）が、多年にわたり栄養士として国民健康保険事業及び介護保険事業の向上発展に尽力した功績が認められ、宮城県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞しました。

高橋さんは、年齢層に応じた食育の取り組みを進め、「食」を通じた住民の健康づくりに努められました。

優

良PTA文部科学大臣表彰受賞

宮

城県国民健康保険団体 連合会理事長表彰

村

田町商品開発コンテスト 最優秀賞は「みらい餅」に決定



十一月二十七日、八月から応募を開始した「村田町商品開発コンテスト」の最終選考審査会及び表彰式を中央公民館において開催しました。

当日は、最終選考に残った十一名中十名がそれぞれのレシピを作成し、審査員が実際に試食して審査しました。

審査の結果、応募総数百五十五通の中から最優秀賞に高橋淳子（沼辺北）さん考案のジャガイモと特産品のとうもろこし味来を使った「みらい餅」が決定しました。町では今後、最優秀賞を受賞した「みらい餅」の商品化について検討を進めていきました。

▼受賞者（敬称略）
最優秀賞
高橋 淳子（沼辺北）

優秀賞
齋藤 暖（村田小学校一年）
根元 健成（村田小学校一年）
藤井 凜（村田小学校一年）



▲最優秀賞作品
「みらい餅」

高橋 茗夏（村田小学校五年）
佐藤 寧姫（村田小学校五年）
根元 愛未（村田小学校五年）
伊藤 枫果（村田小学校五年）
遠藤 光姫（村田小学校六年）
片桐 萌吹（村田小学校六年）
相原 洪（村田小学校六年）

十月十二日から十一月二十八日にかけて、町内二十一行政区において、まちづくり懇談会を開催し、延べ百七十七名が参加されました。

今回のまちづくり懇談会は、ふれ合い、支え合い、つながる「協働のまちづくり」をテーマに、各地区におけるまちづくりの課題解決に向けた地域と町との「協働」について意見交換を行いました。

意見交換の中では、少子・高齢化に伴い様々な分野において担い手が不足し、地域コミュニティの維持が不安との意見が全地区で出されました。今後これらを解決し地域の再生を図るために、「地域ができる」と「地域と町が協働で行うこと」と「地域と町が協働で行うこと」といった活動領域をお互いに協議・理解し、まちづくりを進めていくことが必要であると話し合いました。

「暮らす人が創るまち」を目指し、来年度より地域と町が連携・協力し合う体制を整

え、地域の皆さまが地域を見つめ、将来像を描いていけるよう、共にまちづくりを考えていきます。



ま

ちづくり懇談会



宮

城県教育委員会 文化財保護功労者表彰



平成二十八年度宮城県教育委員会文化財保護功労者表彰式において、宮城県教育委員会教育長より愛宕山愛護会と本郷布袋保存会に、感謝状が授与されました。愛宕山愛護会は、昭和四八年に開場地区にある愛宕山古墳が宮城県指定文化財になつた際に、同地区の中学生と保護者が中心となつて結成されました。現在も古墳へ登る通路の草刈を行うなど愛宕山古墳の保全活動に貢献しています。本郷布袋保存会は、独特の頭の長い布袋の仮装をした踊りを伝承しており、踊りのはやしの曲は、一の谷で討死した平敦盛の笛の音を伝えているとされています。村田町で毎年秋に行われる布袋祭では、お囃子と布袋踊りで祭りを盛り上げ地域文化の向上に貢献しています。

郵

便局と高齢者等地域 見守りネットワーク協定を 締結しました



十一月二十四日、村田町と町内で郵便物の配達並びに金融の窓口を開設している4つの郵便局との間で、高齢者等地域見守りネットワークに関する協定を締結しました。この協定の締結により、村田町内で事業活動を開催している郵便局員が業務中に高齢者やその他支援を必要とする住民の異常を発見した場合に、町や警察等必要な行政機関に速やかに情報提供いたします。これにより、住民の安心、安全な生活の維持、確保につながるものと期待されています。

十一月二十五日、村田町地域福祉センターにおいて、川崎こころ病院院長の石井洋先生を講師に迎え、認知症講演会を開催しました。当日は多くの参加者にご来場いただき、「認知症は脳の病気であり、重症化する前に早めに診断を受けることが重要」「認知症になつても安心して暮らせる地域をつくることが大切」など、認知症についての多くの学びを深めることができます。



認

知症講演会を開催しました

村

田町起業・創業支援セミナーを開催しました



十二月二日、中央公民館を会場に「観光地経営のススメ～地域外の住民から見た村田町の魅力～」と題として、宮城県丸森町でインバウンドを主たる事業としている株式会社侍（SAMURAI）の太見洋介氏を講師に迎え、起業・創業支援セミナーを開催しました。

セミナーでは、インバウンド対策の成功例を紹介しながら、外国人観光客の集客や、接客方法、支持されるお店づくり、トラブル防止策などについて学びました。

時代に合った観光客の誘致、町の魅力を再確認するよい機会となりました。

道

の駅村田に電気自動車（EV）急速充電器を設置しました



道の駅の発展及び災害対策拠点機能の充実を図ると共に、次世代自動車の振興を推進し、適切なエネルギー需給構造の構築を図り、低炭素社会の実現に寄与することを目的として電気自動車（EV）急速充電器を設置しました。

利用開始に伴う除幕式は十二月一日に行われ、二十四時間利用することが可能となりました。

家

家庭教育学級を開催しました！



十二月七日、十四日に沼辺幼稚園、村田幼稚園の保護者を対象に村田町家庭教육学級（むらたつ子応援団子育てサポート事業）を開催しました。

講師の宮城教育大学教授の佐藤哲也氏から、「乳幼児の「育ち」のために保護者ができること」と題して子育てについてお話をいただきました。

講話では、早寝・早起き・朝ごはんの大切さについてのお話や、幼稚園で子どもたちが行っている遊びや様々な体験は、自立性を養うためにとても大切だというお話をいただきました。参加者からは、「幼稚園でいっぱい学んでもらうためにも子どもと一緒に早寝・早起きを心掛けたい。」、「子どもと係わる時間を大切にしていきたい。」等の感想が寄せられ、子育てについて改めて考える有意義な機会となりました。



村

田町婦人団体連絡会研修会を開催しました



十一月十日、村田町地域福祉センターを会場に、婦人団体連絡会研修会を開催しました。今日は町で実施している介護予防講座を活用し、音レクリエーション講座を行いました。この講座は、家族や自分自身が介護を必要としない生活を送れるよう、身の回りにあるものや座つたままでできる音楽を使った運動やトレーニングの方法を学習するものです。

参加した町内婦人会の会員二十名は、熱心に講師の話に耳を傾けており、「地域での集まりの時に今回学んだことをみなさんにお伝えしたいです。」という感想が寄せられ、今回の研修会を通して、改めて健康や福祉を考える有意義な機会となりました。

十二月十日、村田町民体育館を会場に、村田町スポーツ少年団交流会を開催しました。当日は、六十四名のスポーツ少年団員が参加し、運動適正テストとロープジャンプ大会を行いました。参加した団員は、日頃のスポーツ少年団活動の成果を発揮し、みんなで力を合わせながら、笑顔の交流を深めました。

また、交流会の開会式にて、今年度の活動の中で、みんなの模範となつた団員への優秀団員表彰が行われ、七名の団員が表彰されました。

今年度表彰された団員は、次のとおりです。

優秀団員表彰者（敬称略）

- 佐藤 有真
上町少年野球クラブ
- 加藤 佑理
沼辺少年野球クラブ
- 片桐 萌吹
村田フェローズバスケットボール
- 小室 千花
沼辺バスケットクラブ

○ 高橋 海飛
村田町卓球

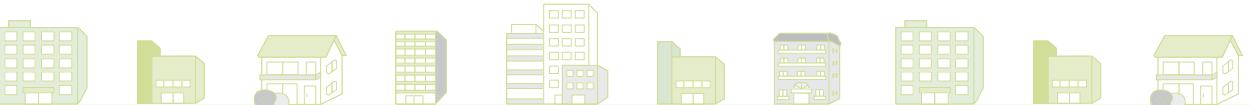
○ 根津 瞳子
村田町バレーボール

○ 阿部 沢規
村田フットボールクラブ



第

十一回多可町ふるさと産業展に出展してきました



十一月三日、姉妹都市協定を結んでいる兵庫県多可町にて開催された「第十一回多可町ふるさと産業展」に村田町ブースを出展してきました。多可町の食・技・元気が大集合し、過去最多の九十三ブースが並び、約七千人の来場者が多可町の味覚や特産品を満喫しました。

会場内には、特産品の販売や農林産物の即売会、物作り体験など多彩なブースが軒を重ねました。

村田町ブースでは、町の特産品を使用した商品の試食、販売を行いました。午前中で商品が完売するものもあり、来場者のみなさんに村田町のPRができました

まちのスポーツ からのお知らせ

村田町ビニールボール協会

三位 Partia m
(柴田町)

十一月二十七日、村田町民体育館を会場に、第一回ビニールボール村田町交流大会が開催されました。当日は、町内外から十六チームが参加し、白熱した試合を繰り広げました。

大会結果は次のとおりです。
(敬称略)
▼結果
優勝 LUSH

準優勝 小泉ユニティ
(村田町)

▼結果
優勝 LUSH

三位 EAST
(柴田町)

三位 BLITZ
(大河原町)

ボール村田町交流大会が開催されました。当日は、町内外から十六チームが参加し、白熱した試合を繰り広げました。

大会結果は次のとおりです。
(敬称略)
▼結果
優勝 神和ブルーインパクト
(柴田町)

三位 MAXレンジャー
(大河原町)

(大河原町)
(村田町)

善意の寄附

アートトラックチャリティ
フェスティバルIN村田が
開催されました

平成二十八年第二十二回
大河原・村田・柴田三町交
流家庭バレーボール大会

十一月二十日、大河原町総合
体育館を会場に開催されたこの
大会に二十四チームが参加し、
熱戦を繰り広げました。

結果は次のとおりです。
(敬称略)

Aプロック
▼結果
優勝 村田ヒーローズ
(村田町)

三位 ホープズ
(柴田町)

収益金の一部が村田町教育委
員会へ寄附され、寄附金は村田
町歴史みらい館の図書購入費と
して活用させていただきます。
村田町への応援ありがとうございます。

ふれあいひろば

「らくがきコーナー」は、黒色のサインペンや万年筆を使って、はっきりと描いてください。（ペンネームだけでなく、住所や氏名、行政区もきちんと書いてね。）「町民文芸」も募集中です。初投稿の方も大歓迎です！※投稿作品が多い場合や投稿内容によっては、総務課で掲載作品を選ばせていただきます。

このページは、町民の皆さんができるページです。 □連絡先/総務課 総務班 ☎83-2111



俳句

旅の果て 里に住みても 除夜に
酔い 吐く息に 彩雲かすむ 初日影

小林 光正

「今年こそ今年こそは」で・もう
五年 タケマロ

新聞のルーペで見る欄 お詫び欄

老丸

木枯しに夢を追いかけ渡る橋
美味しいな冬、至気になる夕明り
贈りものきっと待ってるりんごかな

大友 美恵子

付け睫毛そりや化粧じやないよ変
装や

眉難児

初霜や頬に手を当て歩きけり

風折れの枝そのままに柿熟るる

誰だっけ 尋くも出来ない知人あ
り

蕪田 恋

道楽や一千本の大根引く

鈴木 恵子

酒煙草「休・禁」しても「断」は
せず

元太老

川柳

「今年こそ今年こそは」で・もう
五年 タケマロ

老丸

新聞のルーペで見る欄 お詫び欄

付け睫毛そりや化粧じやないよ変
装や

眉難児

初霜や頬に手を当て歩きけり

風折れの枝そのままに柿熟るる

誰だっけ 尋くも出来ない知人あ
り

蕪田 恋

道楽や一千本の大根引く

鈴木 恵子

酒煙草「休・禁」しても「断」は
せず

元太老

夢を買い 夢と散りぬる多空くじ
如 風



お問合せ

〈自宅での撮影、掲載について〉 総務課 総務班 ☎83-2111
〈1歳児 お誕生相談について〉 保健センター ☎83-2312

次号の対象となるのは、平成28年1月生まれのお子さまです。掲載を希望する場合は、1か月以内に撮影した写真と掲載依頼書を保健センターの「1歳児お誕生相談」の際にお持ちください。直接、役場へ提出される場合は、1月6日(金)までに総務課へお持ちください。



さいじょう かすみ
西城 花純ちゃん

(保護者：真・愛) 千塚

●いつも笑わせてくれてありがとう！これからもパパとママをよろしくね♡
(パパ・ママより)